

議会だより

vol.43
2016・2・1

芸北分校 雄学館と地元の交流



第4回定例議会 〈会期：12月8日～12月17日〉

- ▶ 一般会計12月補正予算の概要・議案に対する質疑 ……………P2
- ▶ 議案に対する討論・審査結果 ……………P3
- ▶ 一般質問 16議員が町政を問う ……………P4～P12
- ▶ 豊平病院決議 ……………P12
- ▶ 委員会報告 ……………P13～P14
- ▶ がんばってます(広島県立千代田高等学校) ……………P15
- ▶ グループ紹介(可愛川太鼓) ……………P16

補正 予算

豊平病院会計繰入れ 1億2,000万円
町道除雪・維持補修 1億4,000万円
農地利用集積・多面的機能支払
5,232万円

総額 3億9,000万円増額

予算総額：166億7,700万円(前年比8億2,900万円増)



12月町議会が12月8日から17日までの10日間の会期で開催された。一般会計補正総額は3億9,000万円の増額で総額は166億7,700万円を超えた。

今議会の最大の問題は「豊平病院の来年3月までの赤字分1億2,000万円を一般会計から繰入れて病院を存続させ、来年4月からは無床の診療所にする」との町の突然の方針である。町議会は議論を重ね、最終日に議員提案による「豊平病院の有床診療所化を求める決議案」を賛成多数で可決した。

議案に対する質疑討論

一般会計【歳入】・【歳出】

- Q マイナンバーの庁内連携とはどういうことか。
- A 所得情報が必要なとき利用できる。
- Q マイナンバーは全戸に届いているか。
- A 500戸は届いていない。再度通知している。
- Q 目の不自由な人への通知カードの配慮は把握していない。
- A 把握していない。
- Q 所得調査に、本人同意は必要か。
- A 同意は必要ない。
- Q ふるさと寄付金の締めは9月か。
- A 12月末を目標に進める。
- Q 地域公共交通網をどう考えているか。
- A 公共交通の実態調査に基づいて来年度検討する。
- Q 消防団員報酬の見直しは。
- A 現在検討中。
- Q 豊平病院への1億2,000万円を繰り出さなければどうなるか。
- A 業者や職員の給与など支払えない。破産状態になる。
- Q 経営改善の取り組みは。
- A 医師確保に努力する。
- Q 豊平地区の声はどうか。
- A ベッドを残してほしい。診療所になった時の説明をしたが納得は得られていない。
- Q 一旦無床の診療所になると医師が確保されても病院には戻らない。再考できないか。
- A 今後、現状のままなら3億円の繰り出し予算になる。
- Q 財政的にどうなのか。
- A このままの状態が続くと他の施策に影響がある。
- Q 医師確保について何がネックか。
- A 当直・夜間勤務が多く、先進医療など技術を高めていくことができない。
- Q 有床診療所の考えはないか。
- A 現在の体制では不可能。
- Q 無床と有床ではどう違うか。
- A 5000万円の支出増。

特別会計【歳入】・【歳出】

簡易水道事業会計

- Q 町内料金の一平化が実現したが実態は。
 - A 一番低いところに合わせた。
 - Q 基本の10㎡未満の割合は。
 - A 46%
 - Q 集会所など実態に合わせた見直しは。
 - A 料金改定時に考える。
- ##### 水道事業会計
- Q 江の川からの取水は取得費がいるのか。
 - A 今は分らない。
 - Q 江の川からの取水で水は足りるか。
 - A 1日5000トンの取水で充分と考えている。

議案に対する質疑・討論

■議案第98号 北広島町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例

反対討論

美濃孝二
共通番号の導入で個人にメリットはほとんどなく、逆にプライバシー侵害、情報漏えい、「なりすまし」被害などデメリットは重大。

12月半ば過ぎても北広島町で595通が届いていない。

番号を手にしてからも国民の不安は広がるばかりで、1月実施を延期して制度の危険性を検証・再点検し、廃止へ向け見直すことが必要である。

陳情審査

■戦争法制である平和安全法制を廃止することを求める陳情書

賛成討論

美濃孝二
「海外に貢献する必要がある」というが、武力で貢献しても平和が訪れないことはアフガニスタンやイラクなど中東を見れば明らか。日本は憲法9条を持つ国として平和外交で貢献すべきである。

「すでに衆参両院を通じている」というが、議事録もなく、数

の力で強行した。これでは通ったとはいえず、議会制民主主義の国といえない。

「日本を守らなければならぬ」というが、攻めてきたら反撃するのは当然で、これは個別的自衛権の問題である。

以上、「廃止に反対」する理由とはならず、憲法違反である安保法制は廃止すべきである。

提案

■豊平病院の有床診療所化を求める決議（要旨はP12）

反対討論

中村勝義

豊平病院経営については平成25年度から医師不足により経営が悪化し、全てはここに起因している。この間3年間で延べ64回医師派遣に向け関係機関への働きかけをしてきたとの報告があった。新たな医師確保が不可能となった現時点では、4月以降無床診療所への移行以外選択肢はないものと判断し反対する。

賛成討論

美濃孝二

議会も責任がなかったとは思っていないが、形態変更を発表する前に、議会と住民に説明する時間があった。この提案は地域医療を守るためのものであり、豊平の医療を守らなければ北広島町の医療は守れない。

平成27年12月定例会 議案審査の結果

■全員一致で採択された議案・提案

大朝農村高齢者活性化センター設置及び管理条例の一部を改正する条例	平成27年度	介護保険特別会計補正予算（第3号）
北広島町農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例		簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）
北広島町簡易水道給水条例の一部を改正する条例		電気事業特別会計補正予算（第2号）
指定管理者の指定について		診療所特別会計補正予算（第2号）
工事請負契約の変更について		情報基盤整備事業特別会計補正予算（第2号）
国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	平成27年度	財産の取得について
下水道事業特別会計補正予算(第3号)		財産の取得について
農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)		

■賛否が分かれた議案・提案

議案名	議員名	○賛成 ●反対												審査結果						
		真倉	中田	久茂谷	藤堂	梅尾	森脇	柿原	室坂	中村	伊藤	浜田	藤井		蔵升	田村	美濃	大林	宮本	
北広島町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例		○	○	○	○	●	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
北広島町税条例等の一部を改正する条例		○	○	○	○	●	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成27年度一般会計補正予算（第4号）		○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成27年度豊平病院事業会計補正予算（第1号）		○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
マイナンバーの実施を中止する陳情書		●	●	●	●	○	●	欠	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	不採択
戦争法制である平和安全法制を廃止することを求める陳情書		●	●	●	●	○	●	欠	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	不採択
【提案】豊平病院の有床診療所化を求める決議		○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

■請願・陳情等の審議・採決

件名	請願陳情者名	審査結果
平成28年度北広島町行政施策に対する要望書	北広島町商工会 会長 砂原 正則	採 択
マイナンバーの実施を中止する陳情書	「軍事費を削って、くらしと福祉・教育の充実を」国民大運動広島県実行委員会 代表 川后 和幸	不採択
戦争法制である平和安全法制を廃止することを求める陳情書	「軍事費を削って、くらしと福祉・教育の充実を」国民大運動広島県実行委員会 代表 川后 和幸	不採択
酪農経営窮状支援緊急対策実行要望書	北広島町酪農団体連絡協会 会長 西原 嘉一	採 択

16議員が町政を問う

どうする？
私たちの町づくり

質問時間30分、質問回数は制限なし。

一般質問の順番と質問項目

ページ	質問議員	質問項目	ページ	質問議員	質問項目
4	藤堂修壮	これからの町づくりをどう進めるのか	8	久茂谷美保之	経費削減を
5	蔵升芳信	人口ビジョンを柱とした総合戦略の取り組みは	9	中村勝義	大丈夫かマイナンバー 来年1月運用開始 TPP大筋合意と本町農業の課題と取り組みは
	梅尾泰文	豊平病院の現状と今後は		宮本裕之	「北広島町農業振興大会」の成果と今後の農業課題を問う 公共事業の展望と建設業の農業参入について
6	真倉和之	北広島町総合戦略第2次長期総合計画を問う 地方公務員の人事評価制度の導入を問う	10	美濃孝二	“TPP交渉からの撤退”を北広島町長として国に求めよ あと1年、町長公約は守れるのか
	大林正行	町道及び河川の維持管理を問う 舞ロードIC千代田の出荷体制の改善策を問う		伊藤久幸	平成28年度予算編成は
		室坂光治	総合戦略婚活事業等を問う	11	濱田芳晴
7	源流域の河川・水の汚染対策を問う 「特別プレミアムユート」発行補助金の効果を問う	中田節雄	町長の政治姿勢を問う 行政文書の文字を大きくすべきではないか		
	藤井勝丸				
8	森脇誠悟	農山村体験事業の推進・拡大について	12	田村忠紘	45年後の人口目標を聞く
		職員の健康管理について			



藤堂修壮

問 これから先の財政見通しは。

答 財政課長

合併特例加算分の減収などがひびき減収見込み。歳出は住民ニーズの対応、公民施設の老朽化対策、総合戦略による新たな施策対応など財政出動が見込まれる。これまでのような歳出規模は困難。

問 27年度単町分補助金総額と件数は

答 財政課長

補助金総額は8億6000万円、件数は150件。

問 今後補助金の見直しはあるのかまた

一律カットを考えているか。

答 財政課長

28年度の補助金は約200万円の削減を目標に精査中。一律カットは考えていない。

問 町長公約で町民の意見を聞き町民と共に進めるまちづくりの成果は。

答 企画課長

まちづくり委員会や町長対話室、町政懇談会などで町民意見を聞いている。まちづくりは内発性を主体として自分たちの思いと力で地域を磨くことが基本。成果は元気づくり推進事業に

問 これからの町づくりをどう進めるのか

答 若者定住を基本に持続可能な取組を進める

よる町民の元気づくりを基本にボランティア活動や集落の活性化に発展している。

問 まちづくりは町長の手腕にある。今後どう進めるのか。

答 町長

都市と農村の役割を有効に活用し若者定住を基本に考え産業、子育て、空き家対策、教育の充実、元気づくりによる地域活性化、都市と農村交流事業など全国や県を見ても取り組みは進んでいると考える。これらを中心に町民と共に持続可能な取組を進める。



蔵升芳信

問 人口ビジョンを柱とした総合戦略の取り組みは

答 定住・子育て支援による人口減少対策に取り組む

問 「北広島町人口ビジョン」を踏まえて策定された「北広島町総合戦略」は、人口減少に歯止めをかけることが最大の目的であり、そのためには子供の出生数を増やすこと、また、定住対策に取り組むことが求められている。

答 企業課長 空き家情報と定住対策については、一部外部委託も検討したい。

また、工業団地に勤務される方の定住に向け働きかけを行う嘱託職員の配置も検討している。出生率を2・07人以上に設定してこの事だが、この数値自体たやすいことではないと思う。ただ子育て支援策

答 財政課長 定住・子育て支援対策等については、真に必要な事業として、過疎・地域振興・財政調整等などの基金を取り崩してでも新年度予算を編成したい。

2060年の人口を1万2470人と推計しているが、もつと目標値を高く掲げ、思い切った施策の展開を図るべきだ。この人口推計による施策では集落は崩壊し町の存亡も危惧

される。新年度予算には「定住・子育て支援」の施策が大幅に拡充されることを求める。

答 町長 定住対策として、島根県中山間地域研究センターの取り組みを本町でモデル地区を作って検証してみたい。



梅尾泰文

問 豊平病院の現状と今後は

答 診療所として地域医療を守る

問 病院に医師が確保できず、患者数が減り収益が減っていると聞いていたが現在はどうか。

答 住民説明会でも有床の診療所での継続を望む意見も多かったのではないかと。

問 今後の体制を聞く。

答 病院事務部長 各方面に医師の確保について相談や派遣依頼に行ったが結果が出ていない。常勤医師の体力面からも病院で継続するのは無理があり、無床の診療所にする以外ないと判断した。

問 来年度から診療所にすると説明をしているが、間に合うのか。

答 町長 医師確保ができなかったことは残念だ。今後地域医療を守っていく核となる診療所にしていく。

問 医師の確保ができず即、診療所に変更する決断は性急過ぎないか。地域や医療機関との協議が必要ではないか。

答 病院事務部長 間に合わず。
問 職員の処遇はどうなるのか。
答 総務課長 正職員、臨時職員



▶ 豊平病院 ナースステーション



真倉和之

問 本町の長期総合戦略と第2次長期総合計画を問う

答 事業の選択と集中の取組み
財源確保につとめる

問 計画の有効性のある施策の実践は、

予算付けが不可欠である。それには優先順位が必要ですが、長期総合戦略、長期総合計画の策定後は予算付けに腹をくくる思いはあるのか、予算のない計画は絵に描いた餅になる。

答 財政課長

行政改革による内
部経費の節減、公共
施設の見直しと全体
のバランス、事業の
選択と集中、将来の
財政負担も考え財源
確保、基金の活用等
も含め集中的な財政
投資を行う。

問 地方公務員の
人事評価制度の導入は

問 平成28年4月の

改正地方公務員法の
施行により人事評価
制度の導入が義務付
けられ、市町も評価
結果の給与への反映
がせまられる。適正
な評価方法の確立に
どのように取り組ま
れるのか。

答 総務課長

人事評価制度では
能力と業績の両面か
ら評価し評価基準を
明示する琴や自己申
告面談で評価結果の
開示などで人事評価
制度における客観性、
納得性等を確保し人
材育成に主眼を置く
た制度の構築を考え
る。



北広島町役場庁舎



大林正行

問 舞ロードIC千代田に
出荷作業用施設の整備を

答 出荷者協議会等の
意向を聞きながら改善する

問 産直システムの
配備先拡大は。

答 農林課長
現在のところ予定
していない。

問 産直システムは
処理速度が遅いなど
問題が多いが。

答 農林課長
出荷者、指定管理
者に業者を交えて解
決に取り組む。

問 道の駅にはラベ
ル印刷機が1台しか
なく、作業場所も狭
く混雑している。専
用の施設整備は。

答 農林課長

混雑していること
は聞いている。出荷
者や指定管理者の意

問 舞ロードIC千代田に
出荷作業用施設の整備を

答 出荷者協議会等の
意向を聞きながら改善する

問 産直システムの
配備先拡大は。

答 農林課長
現在のところ予定
していない。

問 産直システムは
処理速度が遅いなど
問題が多いが。

答 農林課長
出荷者、指定管理
者に業者を交えて解
決に取り組む。

問 道の駅にはラベ
ル印刷機が1台しか
なく、作業場所も狭
く混雑している。専
用の施設整備は。

答 農林課長

混雑していること
は聞いている。出荷
者や指定管理者の意

問 舞ロードIC千代田に
出荷作業用施設の整備を

答 出荷者協議会等の
意向を聞きながら改善する

問 産直システムの
配備先拡大は。

答 農林課長
現在のところ予定
していない。

問 産直システムは
処理速度が遅いなど
問題が多いが。

答 農林課長
出荷者、指定管理
者に業者を交えて解
決に取り組む。

問 道の駅にはラベ
ル印刷機が1台しか
なく、作業場所も狭
く混雑している。専
用の施設整備は。

答 農林課長

混雑していること
は聞いている。出荷
者や指定管理者の意



室坂 光治

問

総合戦略婚活事業等を問う

答

定住対策について取り組む

問 北広島町青年部は、北広島町の発展と活性化を願い、立

地定住者の増加を目的に地域振興事業を企画・開催し多くの方に北広島町に定住して頂く事を目標に事業を実施してほしい。定住や子育ての行政ワンストップ窓口の休日対応。定住される方への補助金

対応をする。

答 総務課長

ワンストップ窓口と定住対策については町で取り組むすべての業務は定住に繋がっていると考えている。お客様の負担が軽減されるワンストップ窓口の機能も発揮できると考えている。

を検討してみてもどうか。
答 生涯学習課長
結婚・子育て・出産を幅広く応援する環境の整備において放課後における子どもの育成環境を整備する。北広島町の現状と保護者の方の要望を据えながら安心して子育てができるよう考えている。

答 企画課長

制度の検討。空き家バンクに登録されている物件の活用と価格の見直しについて問う。

定住については事前に連絡頂ければ時間外や土・日曜日の

間外や土・日曜日の

町内で結婚を機に家を建てたい方や、新築したい方には補助制度を使って、結婚生活へのプランをたててもらえればと思う。

問 町営の放課後クラブ、安全な遊び場

クラブ、安全な遊び場



問

源流域の河川・水の汚染対策を問う

答

源流域の町として、水、環境を守る総合対策を推進する

問 本町は江の川、太田川の源流域としての宝がある。広島

市民など多くの人が使用(飲用)し、健康に関わることでもある、源流域の町として、河川環境、水質の保全は重要である。河川環境、水質、魚介類へ影響などの実態は把握しているのか。

起など総合的対策、「全国源流の郷協議会」への加入「水源基

本法」「水源税」制定の提言、「源流を活かした町づくり」などの考えは。

答 町長・町民課長

研究検討する。現在進めている総合戦略、生物多様性保全活動と連携して検討する。

問 今後の対応は。

答 町民課長

河川、水質の悪化の原因は多様であり、関係機関、団体と連携し環境、水質を守る施策を総合的に推進する。

問 実態の調査、原因の究明把握し、関係機関への問題の提

係機関への問題の提

「特別プレミアム付ユート券」の効果は

問 発行総額3億円(プレミアム10%)の販売状況は。
・町民の1466人(7.5%)が購入し、
・発行総額の64.7%購入限度額の30万円を購入した町民の3.6%を占めている。
☆低所得者への配慮、公平性経済効果などの検証と今後の方針

答 商工観光課長

購入者のアンケート調査を集計、分析し、その結果を参考にして、今後方針を検討する。



森 脇 誠 悟

問 農山村体験事業の推進・拡大について問う

答 受入れ農家の拡大を図り、より推進する

問 子ども農山村体験事業の取り組みは、「地方創生総合戦略」で国からの財政支援を受けるなど、本町の取り組みが評価されると同時に、地域活性化につながる事業として、大きな期待が寄せられている。平成20年度から始めたこの事業を、推進・拡大するための今後の課題とその取り組みについて問う。

願っているが、体験メニュー・食事提供等の合同研修会等の実施について運営委員会を検討し、受入れ農家拡大を図りたい。

問 空き家を利用した農山村体験事業はできないか。

答 企画課長 定住促進にもつながる空き家を利用した「お試し住宅」を検討中である。

職員の健康管理について

問 昨年労働安全衛生法が改正され、働く人の心の健康を守るための「ストレス

答 商工観光課長 体験学習を希望される小学校数は多いが、受入れ農家の数が不足している。受入れ農家にも周りの農家への声掛けをお

チェック制度」が制定された。住民サービス向上のためには、まず行政職員の「元氣」がなければならぬ。時間外労働の削減等、この制度の取り組みについて問う。

答 総務課長

増えつつある時間外労働縮減のために、事務の効率化等に取り組んでいる。また、職員の健康管理の為に、ストレスチェックも実施していく。



久 茂 谷 美 保 之

問 経費削減を

答 学校長等に任せる

問 入園・卒園式、入学・卒業式、また学習発表会や運動会など、学校、保育所の行事に出席された来賓への礼状の経費は、いくら必要か？

答 教育長

感謝の気持ちであり礼状を送付している。地域性もあり学校長に任せる。

答 福祉課長

保育所の礼状の経費は、数百円程度である。

答 学校教育課長

小学校は、712件、2万3630円、中学校、444件、1万7386円、合計4万1016円である。

問 礼状を廃止し、その経費を、若者定住や、婚活事業、また、子ども達に図書

答 総務課長

購入する事は、考えられないか。費用が必要か。 ちらし1枚当り、約3円の経費が必要。町広報に記載してもほぼ同額の経費が必要である。

問 消防出初式、成人式、産業フェスタなど、町の事業に出席された方への礼状はどうしているのか。

答 総務課長

町の様々な行事があるが、礼状は送付していない。

問 毎月、各家庭に配布されているちらし1枚の印刷費は、どれくらい必要か。また、町広報に記載すればどれくらいの

答 総務課長

きたひろネットの加入率もあり、ちらし等の配布は続ける。



中村勝義

問 大丈夫かマイナンバー
来年一月運用開始

答 独立した
基幹システムの中で運用

問 来年1月運用開始となるマイナンバー制度は、国民全てに個人番号を割り当て税金と社会保障、災害関連の3分野を中心に番号の運用が始まる。しかし、国民の理解は進んでいないと言えず安全対策もままならず、不審電話や訪問が各地で相次いでいる。安全対策と通知カード郵送状況を問う。

答 総務課長

使用権限が制約された基幹システムの中で運用し、インターネットに繋がっておらず、内部情報系システムとの通信

も遮断している中で運用していく。組織的な安全面からは条例制定と取扱規制を早期に整備する。

答 町民課長

通知カードの現況、発送数、8492通
返戻数、739通
再送数、144通
全ての人に届くよう努力していく。

**TPPと
本町農業の取り組みは**

問 TPP大筋合意

は農業関係者から不安や懸念の声が上がっている。本町の農業の今後の課題とその取り組みは。

答 農林課長

国の動向を見据え具体策が打ち出された場合は、早急に係機関と連携し、これまで取り組んできた町の農業振興施策と合わせて、本町への農業の影響や効果を調査し対策を検討していきたい。
本年度の取り組み状況は、非主食用米の作付拡大に取り組んだ。農地管理事業は145haのマッチングを行った。集落法人の設立は2法人が設立され、町内の集落法人数は計32となった。



宮本裕之

問 公共事業の展望と
建設業の農業参入を問う

答 安定的な工事発注と
建設業の農業参入を支援する

問 公共事業は、社会資本整備に加え、安全で安心なまちづくりが必要不可欠な事業である。公共事業に対する考えと合併後の工事発注の推移を問う。

答 財政課長

公共事業は、町内のインフラ整備のみならず、中山間地域の活性化と雇用の安定に必要不可欠である。公共事業予算確保と限られた予算の中で安定的な工事発注をしていく。合併後の工事発注は、平均15億円から20億円で推移している。

問 新町建設計画で

の完工高の進捗と事業の見直しは。

答 企画課長

新町建設計画での公共工事の進捗は平成26年末の事業ベースで約4割である。事業の見直しは行っていない。

問 農外企業の農業

参入は地域貢献と農地を守る事につながるかと考えるか。

答 農林課長

農外企業の農業参入は地域の核となる役割を果たし、農地を守る事につながるかと考える。

問 地元建設業者

の農業参入に対し
て支援事業はある

答 農林課長

建設業の農業参入が、地域農業の核となり経済力の高い担い手と位置付けられれば支援対象となる。町としても建設業の農業参入を支援していく。



豊平どんぐり農園



美濃 孝二

問 “町民の声をきく”公約を守り豊平病院は有床化を

答 医師が確保できないため有床診療所は断念

問 来年4月から豊平病院を無床診療所にする突然の決定に対し、病院が難しくても、入院施設のある有床診療所にしてほしいとの声が広がっている。

答 町長

来年4月以降の医師を確保できず断念せざるを得ない。

問 安佐市民病院附属診療所の可能性は、

答 町長

可能性はあるが間に合わない。

問 広島市と医師派遣の連携協定を結んではどうか。

有床診療所は19床以下で病院より医師確保の条件が広がる。非常勤なら承諾した医師もあり、平成33年度には広島大学ふるさと枠も得られる。それまで、当直医師をパートで確保してでも有床診療所にすべきではないか。

答 企画課長

今すすめている連携協議でなく、個別でならでできる。

問 どうしても医師確保できない場合、

「休床しての有床診療所開設の可能性はゼロでない」（県医師会）。住民と議会、県

議、町が力あわせ県に働きかけよう。

答 町長

最初から休床した有床診療所は県に認めてもらえない。

TPP交渉からの撤退を国に求めよ

問 「大筋合意」は国会決議違反であり、

TPPは決着もしていない。

答 町長

「大筋合意」の中で最善の対策を要望する。



伊藤 久幸

問 平成28年度予算編成は

答 効果が期待できる事業を優先的に

問 3年間の課題、成果を踏まえて平成28年度予算編成は、

答 財政課長

最優先課題として道の駅第2期整備の見直し、中学生までの医療費助成、定住子育て支援制度等々に取り組む。成果として転入転出の社会動態がプラスに転じるなど成果が現れはじめた。予算編成にあたっては、北広島町総合戦略に基づく事業展開を重点的に実施していく。

問 来年度魅力ある施策、新期事業は、

答 町長

具体的な事業は、

これから精査。効果が期待できる事業を優先的に進める。

問 若者定住策、本町企業に通勤の若者、都会から移住希望の若者に対する働きかけは、

答 企画課長

町内企業マッチングプロジェクトの専用職員雇用、また、東京での定住フェア等に出向き定住の働きかけを積極的に取り組んでいく。

問 00万円助成と試算される。

答 町長

来年度当初からは無理だが、開始したいと思う。

問 公共交通体系の見直しは、

答 企画課長

実態調査を実施、協議会等で検討し平成29年度新体系をつくる。

問 平成28年度予算は前年度スリム化を図れるか。

答 財政課長

規模として150億円程度を想定。



濱田 芳晴

問

次世代を考えるパート6

答

モデル水稲担い手事業で対応する

問 創生会議の増田さんは、地域から人口流出しないことが人口増になる。この考えは。

答 企画課長

住宅、子育て支援など、定住化をはかる。

問 農業振興大会の講演者、川上村藤原村長は、「担い手が大学を卒業後ふるさとに帰る」と語った。本の考えは。

答 農林課長

家族生活が出来る売り上げがあるからと思う。

問 家族生活が出来るとの売り上げを現行で3億余りの

ーダーになってもら

い担い手を育てる制度づくりは。

答 農林課長

パネリストになられた人を中心にリー

問 国の耕作放棄地に課税をすることでどうなるのか。

答 農林課長

担い手水稲モデル事業などで育った認定農家に農地の集積をはかる。

パート7
豊平病院は

問 診療所にして経営は良くなるのか。

答 病院事務部長

現行で3億余りの

赤字、診療所では、1億余りの赤字になる。

問 内科常勤医師のいない地域包括システム(案)で大丈夫か。

答 町長

常勤医師の確保に全力をつくす。

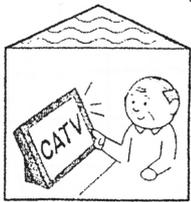
答 保健課長

若い医師育成事業で考える。

問 きたひろネットで元気を確認できる事業は。

答 福祉課長

検討する。今は安心電話で対応している。



▲介護事業所・病院元気かいのーコール

問

町長の政治姿勢を問う

答

明るい元気なまちづくりを目指している



中田 節雄

問 町長は就任以来3年が経過しようとしているが、選挙の争点であった道の駅の太鼓、温水プールについて、町長は説明責任を果たしているのか。

答 町長

選挙公約ではないが、経費を削減しており、町広報でも議会でも説明している。

問 町民から町政執行の付託を受けており、期待を裏切っていない。この3年間の成果はなにか。

答 町長

政策立案室、子育て支援室、支所を中心としたまちづくりを進めており、転入増加により、施策の成果が徐々に現れている。

問 来年度の予算規模はどれくらいを考

答 財政課長

えているのか。150億円位を考

問 町民の要望をすべて予算化できるものではない。交付税も減額されており、より一層の事業の集中と選択により事業効果を上げていくべきではないか。

答 財政課長

財源の確保が問題で、基金を取り崩さなければ予算編成が

問 職員の資質・気力・接遇について、特に支所での対応に苦情が寄せられている。各支所での教育はどうか。

答 芸北支所長

朝会で挨拶の実践を確認している。

答 大朝支所長

重要な課題として認識している。

答 豊平支所長

朝礼で士気を高め

ている。

※「行政文書の文字を大きくするべきではないか。」の質問を用意していましたが、時間切れで質問できませんでした。



田村 忠 紘

問 国は、地方創生事業で、地方の活性と地方の人口増を目標に、施策を推進しようとしている。

国が予測した45年後の北広島町の人口は、9963人であるが、町が作成した人口ビジョンでは、1万2470人と設定している。

北広島町では、国に先駆けて合併以来さまざまな定住のための策を講じているが、新しい施策はどのようなものか。

答 企画課長

従来の事業である空き家バンクに、借り手の不安解消のた

問

地方創生事業での新事業は何か

答

空き家バンクに「おためし住宅制」を導入

め、「おためし住宅制」を導入し、一定期間、試験的に居住できる制度を、平成29年度から実施する。



▶北広島町人口ビジョン・総合戦略の冊子

町議会が決議

豊平病院の有床診療所化を求める決議（要旨）

来年4月から豊平病院を無床診療所にするとの突然の発表は、事前に住民にも議会にも説明されていない。豊平地域には歯科医を除く医療機関は豊平病院しかなく、無床診療所になれば入院施設がなくなる。

さらには今後の「小さな拠点づくり」のまちづくりや移住・定住など地域再生をすすめる拠点ともなる。よって北広島町長は

1. 来年4月からの豊平病院の形態変更を無床診療所から有床診療所に変えること。
2. 直ちに広島市と連携協議を開始し、例えば安佐市民病院附属の診療所等を目指すこと。
3. 医師確保のため、住民や町議会及び山県郡医師会とこれまで以上に連携し、関係機関への要請を強くすること。
4. 来年4月までに必要な医師が確保できない場合、休床のまま有床診療所として認めるよう、ただちに広島県知事に要請すること。

- 近い将来、医師が確保できる可能性はあり、何としても有床診療所として残す必要がある。
- 有床診療所は、
- 無床診療所と比較し多様な対応が可能、
- 住民の包括的な健康管理が可能、
- 急性期から在宅への移行期間フォローができる、
- 在宅医療・在宅看取りにも対応しやすい。

以上、決議する

委員会報告

総務常任委員会 産業建設常任委員会

平成27年11月4日～6日、総務常任委員会・産業建設常任委員会合同で、「まち・ひと・しごと創生」(地方創生)をテーマに、内閣府、経済産業省、農林水産省等に視察研修を実施した。

11月4日(水)

全国町村議員会館において、内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局参事官補佐高野一樹氏より、「人口減少の歯止め」「東京一極集中の是正」を長期的目標として「総合戦略」を策定し、「雇用の創出」「地方への新しい流れをつくる」「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」ための国の地方活性化方策について説明を受けた。時間的制約もあり、十分な議論とまではいかないものの、地方創生に向けた国の支援策や本町のとるべき施策・課題について研修できた。

引き続き経済産業省商務情報政策局商務情報統括調整官吉本豊氏に、北広島町サイエンスパーク構想について説明し、助言を受け、意見交換を行った。



▶内閣府から説明を受ける

11月5日(木)

(午前10時) 衆議院議員第2議員会館

農林水産省 生産局 畜産部畜産振興課

畜産技術室長 菊池淳志氏

生産局 畜産部畜産振興課 技術第2班

野方博幸氏

生産局 地域対策官付課長補佐 岸本秀

之氏

○日本地鶏の状況及びサイエンスパーク構想の感想

北広島町サイエンスパーク構想の説明の後、日本地鶏の状況と薬草の栽培について説明を受けた。

日本鶏のほとんどが海外からの輸入であり、海外で伝染病が発生すると、鶏が入ってこなくなるので、日本産の地鶏の振興をしていかなければならない状況がある。

広島県は地鶏がいないので飼育は正に狙い目であり、販売価格を高くするためのブランド化も必要である。

国の補助事業は県を通じているので広島県との協議を十分にする必要がある。

○薬草作物をめぐる事情

漢方薬として使用されている薬草は210数種類であり、そのうち国内で販売されているものは、90種類である。薬草の8割は中国からの輸入である。

薬用作物は、薬事法で品質規格が定められており、クリア基準が高く、甘草ではグリチルリチンが2.5%以上必要である。栽培には2～3年を要する。

○カンナ薬草園を視察

(午後2時) 千葉県富里市

㈱カンナグリーン事業部 主任 千葉祐貴氏

委員会報告

甘草は需要があり、今後日本での栽培は増加すると思われるが、栽培方法を身に付けるまで時間がかかることと除草も必要である。甘草は湿気に弱いとされるが全国各地でも栽培は可能。路地とハウス栽培がされているが、製菓会社との契約栽培では、トン単位の取引となるため、かなりの規模での栽培が必要である。甘草は根だけでなく葉にも需要を引き出す事ができる葉草である。



▲カンナ薬草園

文教厚生常任委員会

11月10日～11月12日の日程で視察研修を行った。

○ボランティアグループ「すずの家」(川崎市宮前区)

人口2万8000人の野川地区で地域ケアをしているボランティア団体「すずの家」を訪問し、定例会を傍聴した。この団体は、地域の主婦を中心に60人で活動している。

活動内容は、介護施設「すずの家」及び集いの場(ミニデイ、ご近所サークル)の運営、介護者サポート、元気度チェック、かわらばんの作成配布など。

介護施設「すずの家」は、空き家を借りたもので、毎週2日開いている。ボランティアが無償で運営、食事の提供、入浴談話などを行っている。

運営は、市から補助金を受けておらず、利用料だけでは赤字であるため、地元の方からの寄付で賄っている。メンバーは自分の生きがいとして参加しており、今後のあるべき姿と感した。

○習志野市立秋津小学校(コミュニケーションスクールの取り組み)

開校時の児童数は1148人であったが、現在は300人を切っている。4階建ての校舎に空き室が出来たので、1階部分はすべて市民に開放しているため、日常的に市民と児童が触れ合うことができ、学社融合を実現していた。コミュニケーションスクールに指定されており、学校運営協議会を設置し学校職員・保護者・地域代表が協議し各種行事を行っていた。

以上のほか、国立歴史民俗博物館及び世界遺産富岡製糸場を視察した。



▲千葉県習志野市立秋津小学校前にて

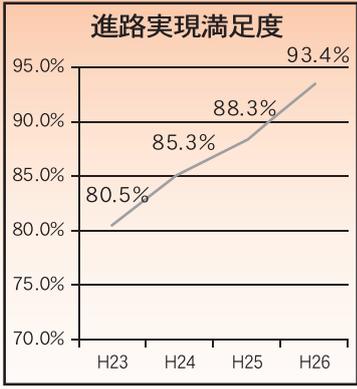
がんばっています!!!

広島県立千代田高等学校

やっつたるで千代高!

くちっちゃな学校の
デッカイ安心!

校長 田 隆
増 田 隆
町民の皆様、町並
びに町議会の皆様
には、平素より格段
のご配慮をいただいていることに
感謝しています。

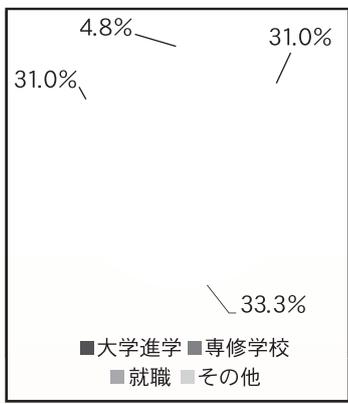


グラフ 1

「Innovation やっつたるで千代高」これは、生徒会が今年度の文化祭のテーマとして掲げたものです。「Innovation」とは革新を意味します。生徒の意気込みが強く感じられる、とてもいいテーマなので、懸垂幕を作成し校舎に掲示しています。このように生まれ変わろうとし

ている千代田高校を紹介します。グラフ1は、毎年、卒業を控えた3年生のアンケート「進路実現満足度」です。自分が決定した進路について満足している生徒の占める割合が年々増加し、平成26年度卒業生では93.4%の生徒が肯定的に答えています。このことは、生徒一人一人に応じた指導を行っている本校の取組が、生徒が希望する進路の実現に結び付いているものと捉えています。

グラフ2は、現3年生の進路希望の状況(11月時点)です。例年このように、就職、大学、専修学校がそれぞれ3分の1となっています。このように入学してくる生徒が多様な本校では、「分かれん」から「分かつた」に変わるまで、「とことん指導」を合言葉に学習指導を行っています。具体的には、国語・数学・英語の3教科を習熟度別に「基礎」「標準」「発展」の3グループに分け少人数指導を行っています。また、選択科目を多く設定して、希望進路に応じて科目を選択できるようにしています。さらに、近隣に学習塾がない環境を克服するため、進路指導室内に「自習室」を設け、平日は午後7時まで、土曜日や長期休業中には8時半から午後5時まで、教員がついて、大



グラフ 2

学入試対策等ができるようにしています。今は3年生を中心に毎日7、8名の生徒が頑張っています。

過去3年間の進路状況は、下の表のとおりです。本年度の3年生は11月現在、進学については、国公立大学2名、私立大学7名、専修学校13名が合格しています。就職については、希望する13名全員がすでに内定しました。昨年に引き続き北広島町役場に内定したほか、全員が北広島町内の事業所に内定したのが本年度の特徴です。地域の事業所のご理解とご協力、そして、本校の生徒が地域を愛する取組を行ってきた成果だと考えています。

クラブ活動には、全校生徒のうち87%が所属し活動しています。体育系が7部(硬式野球、男女バレーボール、男女バスケットボール、ソフトテニス、卓球、剣道、サッカー)、文化系が3部(茶華道、軽音楽、イラスト)

ト)、そして愛好会が2部(神楽、ダンス)です。地元の全日制普通科本校である千代田高校がますます輝く学校になるよう今後もご支援ください。

過去3年間の進路状況

種別	主な進路先
大 学	大阪大学、島根大学、広島市立大学、山口県立大学、安田女子大学(6)、広島文教大学(5)、広島工業大学(4)、広島修道大学(3)、広島経済大学
専修学校	広島YMCA専門学校(3)、広島医療秘書こども専門学校(3)、広島美容専門学校(3)、広島工業大学専門学校(2)、広島情報専門学校
就 職	広島アルミニウム工業(3)、JMS千代田工場(2)、広島信用組合(2)、中国木材(2)、大田鋳造所(2)、北広島町役場、日本郵便、広島北部農業協同組合、北広島ホテル、ダスキンプログラクト中四国、医療法人明和会、イワサキ、千代田ファーム、広島協同乳業、勝原白貫堂、ロビンベッド、広島イーグル、オフィスブラウンエイ、河野鉄工

千代田ブロック一斉清掃

グループ紹介

可愛川太鼓

(大朝地域)

代表 岡本康子

トントコ、トントコ、ドーン、ドーン！
 和太鼓「可愛川太鼓」が発足して28年になりました。女性だけの太鼓グループとして発足当時はめずらしかったように思います。

メンバーもこれまでに結婚や出産等に入れ替りもありましたが、現在10名でいろいろなイベントに元気で参加しています。

今までに遠くでは、東京や下関などに出向いて出演させていただきました。出演の時のほどよい緊張と終わったあとの安堵感は格別です。出演のたびに全員が完璧に出来る事は少なく、和太鼓の奥深さをつくづく感じています。

女性ならではの「力強さの中にもしなやかさを」と太鼓を打つバチに願いをこめて練習、本番に精進している今日この頃です。

練習は、週1回年間ほとんど休みなく行っています。これからも太鼓を愛し、楽しんで活動していきたいものです。



表紙の写真



表紙の写真は餅つきの写真です。交流を深めていきたいと思えます。

平成27年12月20日 大元地区の皆さんと、雄学館（芸北分校男子寮）の生徒の皆さんで餅つきを行いました。みんな初めてのことでしたが楽しい時間でした。平成28年1月17日も大元地区と雄学館の生徒の皆さんと、とんど祭りを行いました。

全国町村監査委員協議会から 中村監査委員に表彰状



10月7日、北広島町議会議員中村勝義氏が監査委員として地方自治の振興発展に貢献された功績に対し、全国町村監査委員協議会会長から表彰状が贈られました。

あしがき

北広島町人口ビジョン・総合戦略で今後のわが町のありようが決まります。今、この町の頑張りが各方面から伝わってきます。中学生のクラブ活動での活躍、高校生の地域行事への参加、小中学生の運動能力テストは県内トップ。また、こども農山村体験では3カ月で22校の小学校など1000人を超える児童が当町に来て農村体験をしました。受け入れ家庭のパワーを感じます。全町あげて元気で活気のあるまちづくりをさらにめざしましょう。

【ご意見や提案の連絡先】
050-5812-1862
(議会事務局まで)

- 【発行責任者】 議長 加計 雅章
- 【議会広報特別委員会】
- 委員長 梅尾 泰文
 - 副委員長 美濃 孝二
 - 委員 久茂谷美保之
 - 委員 森脇 誠悟
 - 委員 柿原 徳則
 - 委員 藤井 勝丸
 - 委員 宮本 裕之